

【校内研修】 「協働編集・相互参照・非同期型の校内研修」

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|-----------------|---|-------|------------------------------|-------|----------------------------|-------|---------------------------|-------|----------------------------|-------|----------------------------|
| <p>4/25表現、評価</p> <p>主體的に取り組む態度に關しての評価で、単元の初めにするというの聞き、もっと授業への見通しをもたせ、子供がこの単元のゴールは何なのかを誰もがわかるように説明が必要だと思つた。その見通しを子供が理解し、そのゴールに向かってどのように自分なりの計画を持っているのかを見て、評価していきたい。</p> <p>この単元でどう見取るか、もっと教材研究をしなくてはと思つた。単元が始まる前に、その単元を通しての評価基準を設定しなくては、と思つた。教員も目標から「問い」を持って生活するところが「これってどうしてかな」という子どもたちの問いにつながるのかなと思つた。</p> | <p>5/1見方・考え方</p> <p>授業の見方・考え方にあつた「根拠をもとに筋道を立てて考える」から、もっと全員が既習を活かして学べるようにしていきたい。そのために、授業の初めに前回の復習だけで終わらせるのではなく、もっと前に学んだことも確認する時間をとりたい。</p> <p>見方・考え方を働かせるって本当に難しいなと思つた。今度回工でやってみようかなと思つた。つまみ食いなくとも、トライ&エラーを繰り返していきたいです。</p> | <p>6/5個別最適な学び</p> <p>児童が安心して発表できるように「児童の答えを、×つけずにありのままを受け止める」ことを大切にしていきたい。そして、振り返りとして◎・○・△を書いて終わってしまうので、これからどうするまで考えられる時間を取りたい。</p> <p>研修を受けてから、ある科目だけ、(1、2年生にブレゼンで教えてあげよう) 全体のめあての下に「自分のめあて」「ふりかえり」「次はどうしたいか」を書くワークシートを作つて活動してみました。「自分のめあては、一人一人違つていいんだよ」と言つて、「ほとんどノートを取らないTさんも書いていました。自分で目標を考えるのが難しいだろうと思つていたので、申し訳ない、と同時に、みんなやり方が違えばもっとやるのね?」と思つた。単</p> | <h3>評価について</h3> | <h3>校内研修の振り返り</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>校内研修①</td> <td>スタート (心理的安全)</td> </tr> <tr> <td>校内研修②</td> <td>評価①、見方・考え方</td> </tr> <tr> <td>校内研修③</td> <td>個別最適な学びとは</td> </tr> <tr> <td>校内研修④</td> <td>探究的な学び、評価②</td> </tr> <tr> <td>校内研修⑤</td> <td>指導案作成にあたって</td> </tr> </table> | 校内研修① | スタート (心理的安全) | 校内研修② | 評価①、見方・考え方 | 校内研修③ | 個別最適な学びとは | 校内研修④ | 探究的な学び、評価② | 校内研修⑤ | 指導案作成にあたって |
| 校内研修① | スタート (心理的安全) | | | | | | | | | | | | | |
| 校内研修② | 評価①、見方・考え方 | | | | | | | | | | | | | |
| 校内研修③ | 個別最適な学びとは | | | | | | | | | | | | | |
| 校内研修④ | 探究的な学び、評価② | | | | | | | | | | | | | |
| 校内研修⑤ | 指導案作成にあたって | | | | | | | | | | | | | |

【実践について】

スプレッドシート、ジャムボードを用いてクラウドの利点を生かした校内研修を行った。また、研修スライドのリンクを共有し、見たいときに見られるように工夫した。

【成果と課題】

- 同僚がどんなことを考えているのかが一目で分かり、協働しやすかつた。
- 「繰り返し資料を見ることができた」という声があつた。